

しゅてんどう

関係では、機関車乗務員および電車運転士の勤務および給与についての特別規程に基づいて、乗務員作業月報に記載する場合には、乗務員作業月報が賃金台帳の役割を有している。なお、出務表の様式を別表に示す。

出務表は毎日所定の場所に置いておき、出勤した者は、自ら認印を押なつすることをたてまえとし、本人の押なつた認印のあることをもって出勤が確認される。

遅刻・早退・欠勤等の場合は、欠勤簿に記入して長の承認を受けることになっている。欠勤のうちその事由によっては、有給欠勤として扱われるものがあるので、特定の欠勤の場合、その理由を確認する意味で、欠勤証明書類を提出させるものである。

出務表の整理は、本人の出勤の認印のほか、出務表に関係のある帳表を参照したうえ、略印を用いて毎日整理することになっている。勤務認証の略印は、[出勤]・[公休]等をはじめとして60数種あるが、朱または赤色を使用する略印と黒または青色を使用する略印に大別される。前者は賃金全額の支給のあるものであり、後者は賃金を減額するか、あるいは支給しないものである。

出務表以外の勤務関係帳表は次のとおりである。

1 欠勤簿 欠勤する場合あるいは欠勤した場合の処理を行なう帳表をいう。

2 超過勤務等整理簿 超過勤務・休日勤務・夜勤(深夜勤務)等を行なった場合の割増賃金に関係のある時間を記入する帳表をいう。

3 年次有給休暇票 年次有給休暇に関する事項(付与期日・有効期限・付与日数等)を記入し、年休を請求する場合には、これに記入して申し出で、承認を受ける場合に使用する帳表で、同時に年休使用の記録整理が行なわれる。

4 不承認年次有給休暇整理表 不承認年休に関する記録を整理する帳表であって、不承認年休を請求する場合には、これに記入して承認を受けることになっている。

5 出務証明書 転勤となった職員の出勤前の当月分の勤務認証について出務表から転記して転勤先に送付する場合に用いる帳表をいう。

6 出張命令簿 出張を命ずる場合に用いる帳表をいう。

(重松 萬寿生)

しゅてんどうき 主電動機(MT 200) (英) traction motor 新幹線*旅客電車の主電動機は、台車装架式の高速脈流電動機で、可とう歯車継手を経て駆動装置と連結されている。電源として単相ブリッジ結線に接続された*シリコン整流器が使用されるので、主平滑リアクトルと1両分4個の主電動機が

永久直列に接続されるが、力行時には50%の高い脈流率で運転されるため、種々の脈流対策が施されている。発電ブレーキ時には分路抵抗を除いた状態で使用する(写真-1)。

1 構造

(1) わく 磁気わくは溶接鋼板製の丸形で、台車取付用のノーズと取付座があり、補極磁束の追隨性を良くし、鉄損を少なくするため、軸方向でほぼ鉄心長の間、わく厚さの約半分をけい(珪)素鋼板で積層してある。冷却風は防じん(塵)、防水のため車体の妻部(前頭車では屋根上)からダクトにより主電動機まで導かれ、整流子側から吸込み歯車側に排出する。

(2) 磁極 主界磁束の脈動による変圧器起電力のための整流不良対策として、主極に10%の抵抗分路を設けて力行時の主極電流を平滑化している。

補極コイルには大きな脈流電流が流れるので、鉄心は、けい素鋼板で積層するのはもちろん、つばはね切欠き、ライナーに絶縁物を使用するなどの対策がしてある。

固定子コイルは、無溶剤のエポキシ樹脂で鉄心と一体固化絶縁し、電気的にも機械的にも強固で、熱放散がよくなっている(写真-2)。

(3) 電機子 コイルは重ね巻、絶縁はガラスマイカを基材としたF種絶縁である。ウェッジはフェノールガラスの成形品を用い、バインド線はポリエステルガラスバインドを使用している。

(4) 整流子 高温に耐える銀入銅を使用し、整流子締付けには、リングばねを使用して高速回転の常用に対して安定な構造としてある(写真-3)。

(5) 電機子軸 材料はクロムモリブデン鋼で、強度はスキッドトルクにも十分耐えるようにしてある。

(6) 軸受 両側とも主電動機として標準のラジアル遊げき(隙)をもった、ころがり軸受を用いており、軸受径は比較的小さく、DN値を低くしてある。電動機を台車に組み込んだままの状態でも軸受の洗浄およびグリースの交換が可能なような構造としてある。

(7) ブラシ B種を使用、接続ひも付き2分割形であるが、ダストによる固渋を少なくするため、斜めのみぞをブラシの合せ面と、ブラシささえとのしゅう動面とに刻んである。接続ひものかしめ部分は銅メッキまたはメタリコン処理をして温度上昇を下げるようにしてある。



写真-1 MT 200 形主電動機外形



写真-2 MT 200 形主電動機固定子